

調査結果の分析方針等について

- 令和 6 年度の生徒アンケート結果では、地域クラブに参加したいと回答した生徒は約 61%であった。生徒の地域移行の認知については、23%であった。参加の意向と認知をクロス集計したところ、地域移行について知らないと回答した生徒の方が、地域クラブ活動に参加しない割合が高くなっている傾向が見られた。生徒の認知度の低さが課題である。
- 令和 6 年度の教員アンケートでは、約 76%が部活動に負担を感じており、報酬の有無に関わらず休日に指導や運営に携わりたくない教員は約 75%であった。
- 令和 6 年度のアンケート結果では、生徒・保護者の活動ニーズの多様化や、地域クラブ活動における種目選択の変化、費用負担に対する保護者の意識の違いが見られた。
- これらの結果を踏まえ、令和 7 年度は、少子化が進む中でも、将来にわたって子供たちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するための取組を効果的に進めるために、地域移行のみではなく、地域連携にも着目したうえで、子供たちのスポーツ・文化芸術活動への認識や、地域連携や地域移行の進捗状況、影響とともに、教員の働き方改革の進捗状況を確認するための分析・考察を行う。子供、保護者、教員の側面から、現状を把握し、更なる部活動改革の工夫・改善に向けた一助とする。
- 地域連携や地域移行の進捗状況が捉えづらいことから、指標について検討し、明確化し、今後の成果指標とする。
- 令和 6 年度の区市町村へのデータ送付については、報告書（全体値）、エリア前年度比較及び東京都全体との比較を情報提供した。
令和 7 年度の報告書については、分析結果（クロス集計等）を掲載することとする。
また、区市町村へのデータ送付については、報告書（全体値）、エリア前年度比較、東京都全体との比較及びエリア別分析資料を情報提供することとする。